

○市街地と中山間地の人口バランスについて
○職員意識の高揚について
○岩谷堂城の調査保存について



さとう しゅうこう
佐藤 修孝
議員

質問 小学校1学年1学級30人を確保する施策や、市道や河川の草刈が維持できる集落を保つ斬新な施策が必要と思われる。例えば、固定資産税の減免や市有林の無償譲渡が考えられますが伺います。

市長 市として空き家情報の発信など様々な定住化推進策は進めています。モデル的に地区を定め成功事例を創ることも一考だと思います。提案の固定資産税の減免や市有林の無償譲渡についても検討します。

質問 企業感覚意識に習い危機意識を持って行政事務を遂行すれば、今以上の良い仕事が出るのではないかと思います。また、市民への接客や挨拶についての配慮も必要だと思いますが伺います。

市長 民間企業経営の考え方を導入し、※ニュー・パブリック・マネージメントに取り組み3年目となり成果が出てきています。また、部課長が1年間の業務目標を立て、

それを上司がヒアリングする目標管理制度は2年目に入り、成果が上がっていますし、先進事例ではこれをボーンラス査定の基準にしている自治体もあります。挨拶や市民への接し方については、あたたかく、何でも聞きやすい職員になる様にさらに努力します。

※ニュー・パブリック・マネージメント：民間企業における経営理念、手法、成功事例などを公共部門に適用し、そのマネジメント能力を高め、効率的で質の高い行政サービスの提供を目指すという考え方。

質問 岩谷堂城の史跡状況はどの様になっているか伺います。

市長 1682年の絵図に、本丸、二の丸、石垣、堀跡や商人町が描かれており、今後、市民に古文書や絵図を広く公開してまいります。



背丈以上もある河川の草刈り

○衣川区全棟調査
○市長選挙



たかはし みずお
高橋 瑞男
議員

質問 奥州市環境基本条例が19年4月1日から施行されました。計画はソフト、ハード、補助金交付事業も含め99件の事業で、19年度から23年度までとなっています。温暖化対策、クリーンエネルギー導入、エコ対策、CO₂削減目標、不法投棄等の内容をお伺いします。

市長 温暖化、エコ対策は基本計画に基づき実行します。クリーンエネルギー導入については補正予算措置をします。CO₂削減は18年度総排出量23,973tを24年度までに7%削減の目標です。不法投棄47か所は啓蒙の立札や監視員でパトロール強化をします。

質問 ゴミ分別の細分化によりトレー、ペットボトルなど2か月に1回の収集では置く場所が無く大変との衣川区民からの声が大です。収集回数の見直しをしないのか伺います。

市長 衣川区・胆沢区において見



リサイクルステーション（水沢区大手町）

直しが必要なため補正予算で対処します。

質問 衣川区で家屋の全棟調査を2年間で行う旨の話があります。調査終了地域は先がけて22年度から課税することです。衣川区全戸一斉調査終了後に一斉課税するとか、調査方法の見直しが必要と思いますが伺います。

市長 地方税法の規定に基づき適正な課税のための計画であり、他の区は調査済ですが今回は総体的に検討します。

質問 来年の市長改選期にあたり、市長選に出馬の考えはないか伺います。

市長 今は行政公務に専念します。